

重要課題（マテリアリティ）4つの柱と12の具体的項目

2030年を目指した重点アクションプラン

SDGsへの貢献



人の生活に寄り添った
ものづくり

- (1) あらゆる人にやさしい製品・サービスの提供
- (2) 顧客満足度を追求した「ワンストップ型」一貫生産体制
- (3) 業界トップクラスのカレンダー生産による社会貢献

<日本社会におけるメディアユニバーサルデザイン（MUD）普及への貢献>

- ・メディアユニバーサル関連研修を受ける社員 100%
- ・プライベートブランド製品のユニバーサルデザイン（UD）フォント使用率の増強
- ・EC サイトを通じた製品・サービスを 2024 年比 5 倍

<社会・環境に配慮したサステナブル・カレンダー生産の強化>

- ・サステナブル・カレンダー（メディアユニバーサルデザイン（MUD）やリサイクル素材使用）の推進
- ・サステナビリティ追求によるブランド力強化を通じたカレンダー生産アジア No.1




環境にやさしい
ものづくり

- (1) 印刷の環境負荷を減らす原材料調達と生産
- (2) 全国／世界基準の環境対応を可視化する認証取得
- (3) ロスの削減と省エネ・再エネ

<印刷業界最先端の環境配慮への挑戦>

- ・環境配慮型インキ／サステナブル対応インキ使用 100%
- ・紙製品の社内におけるリサイクル・リユース率 100%
- ・サステナブル・カレンダーの推進




社員が成長し
活躍できる職場に

- (1) 働きやすさの追求
- (2) 社員の健康増進
- (3) 社員の成長のための各種研修

<地域で一番働きやすい企業を目指して>

- ・山形県内「就職したい企業」ランキング トップ 10 以内の実現
- ・高ストレス社員の比率 5% 以下の実現
- ・労災事故ゼロの実現
- ・長期休業者ゼロの実現
- ・業務の効率化による従業員の法定時間外・法定休日労働時間の月平均 45 時間未満の実現

<子育て世代が働きやすい環境のさらなる拡充>

- ・仕事と子育ての両立を支援する雇用環境を整備する旨宣言した行動計画の策定
- ・男性従業員の育児休業取得率 100% の実現
- ・女性従業員の育児休暇 100% の継続
- ・短時間勤務などのより柔軟な働き方制度の導入




地域にとって
あるべき企業に

- (1) 地域の経済・社会・環境への貢献
- (2) コーポレートガバナンス（企業統治）とコンプライアンスの強化
- (3) 情報セキュリティと顧客プライバシーの保護

<地域の子ども・学生の未来への貢献>

- ・地域の学校・大学との連携強化（体験活動や産官学連携の強化）
- ・地域の歴史・文化を伝える刊行物や展示会への協力強化

<地域で最も責任ある企業を目指して>

- ・コンプライアンス関連研修の強化
- ・コーポレートガバナンス（企業統治）及びコンプライアンス関係の情報開示の強化
- ・サステナビリティ推進チームの創設と活動強化

